



市議会議場

4月の統一地方選挙を経て
16人のメンバーで滝川市議会がスタートしました
市民の皆さんから信頼され、開かれた議会と
なるため不断の努力を傾注してまいります

● 目 次 ●

議員紹介	2
第2回臨時会 主な議案のあらまし	3
第2回定例会 主な議案のあらまし	4
代表質問等から	5～9
議決結果	10
常任委員会だより・政務活動費収支報告	11
議長コラム・議会日誌・編集後記	12

2019.8.1
No.30

滝川市議会議員

定数：16人

任期：平成31年4月30日～
令和5年4月29日

①党派 ②職業 ③当選回数 ④会派名 ⑤主な役職 (左から議席順)



三上 裕久

S33.6.2

- ①公明党
- ②自営業
- ③5
- ④公明党
- ⑤厚生常任委員長



堀 重雄

S25.11.1

- ①公明党
- ②無職
- ③4
- ④公明党



木下八重子

S19.5.15

- ①無所属
- ②行政書士
- ③3
- ④会派みどり
- ⑤議会選出監査委員



山口 清悦

S28.10.7

- ①無所属
- ②会社役員
- ③5
- ④会派みどり



山本 正信

S28.1.13

- ①無所属
- ②農業
- ③3
- ④会派みどり



渡邊 龍之

S27.4.6

- ①無所属
- ②無職
- ③3
- ④会派みどり
- ⑤たきかわ市議会だより編集委員長



関藤 龍也

S31.3.18

- ①無所属
- ②会社役員
- ③4
- ④会派清新
- ⑤議長



寄谷 猛男

S31.12.10

- ①日本共産党
- ②無職
- ③1
- ④日本共産党



佐々木和代

S43.5.6

- ①無所属
- ②会社役員
- ③1
- ④新政会



安樂 良幸

S34.5.26

- ①無所属
- ②会社員
- ③2
- ④新政会
- ⑤総務文教常任委員長



本間 保昭

S35.11.23

- ①無所属
- ②会社役員
- ③4
- ④新政会
- ⑤副議長



田村 勇

S19.2.15

- ①無所属
- ②会社役員
- ③8
- ④新政会
- ⑤議会運営委員長



▲議場内の様子



柴田 文男

S34.7.26

- ①立憲民主党
- ②無職
- ③5
- ④会派清新



荒木 文一

S37.3.14

- ①立憲民主党
- ②薬剤師
- ③4
- ④会派清新
- ⑤経済建設常任委員長



水口 典一

S41.6.18

- ①無所属
- ②会社員
- ③7
- ④会派清新



東元 勝己

S27.9.13

- ①無所属
- ②会社役員
- ③2
- ④会派清新

議会開会中

第2回臨時会

主な議案のあらまし

任期満了による市議会議員選挙後の初議会となる
令和元年第2回臨時会を開催しました。

令和元年第2回臨時会は、5月

7日から10日までの4日間の会期で開催し、正・副議長の選挙や議会運営委員会・常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選出などを行いました。

◎議長・副議長の選挙

5月7日の本会議で、投票による議長・副議長選挙を実施しました。投票は、16人の議員がそれぞれを投票用紙に記載し、無記名で投票する方法で行われ、その結果、議長には関藤龍也議員が、副議長には本間保昭議員が当選しました。

●投票結果

議長選挙

関藤 龍也	議員	6票
山口 清悦	議員	5票
田村 勇	議員	4票
柴田 文男	議員	1票

副議長選挙

本間 保昭	議員	9票
渡邊 龍之	議員	5票
三上 裕久	議員	2票

◎議会運営委員会委員の選任

議会運営の全般について協議し、円滑に議会を進めるための場として設置される委員会、次の委員および正副委員長を選任しました。

委員長	田村 勇
副委員長	柴田 文男
委員	三上 裕久
	渡邊 龍之
	安樂 良幸

◎常任委員会委員の選任

各常任委員会の委員および正副委員長を選任しました。

総務文教常任委員会	委員長 安樂 良幸
副委員長	東元 勝己

委員

堀 重雄	山口 清悦
渡邊 龍之	寄谷 猛男
佐々木和代	本間 保昭
柴田 文男	荒木 文一

厚生常任委員会

委員長	三上 裕久
副委員長	佐々木和代
委員	堀 重雄
	山口 清悦
	安樂 良幸
	水口 典一

経済建設常任委員会

委員長	荒木 文一
副委員長	山本 正信
委員	三上 裕久
	渡邊 龍之
	本間 保昭
	柴田 文男

◎一部事務組合議会議員の選挙

各一部事務組合議会議員の選挙を行い、次の議員が当選しました。

中空知広域市町村圏組合議会議員

関藤 龍也	田村 勇
中空知衛生施設組合議会議員	山本 正信
	荒木 文一

滝川地区広域消防事務組合議会議員

三上 裕久	渡邊 龍之
荒木 文一	
中空知広域水道企業団議会議員	堀 重雄
	寄谷 猛男
	水口 典一

石狩川流域下水道組合議会議員

安樂 良幸	東元 勝己
中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員	関藤 龍也
	安樂 良幸

◎監査委員の選任

議会選出の監査委員として、木下八重子議員の選任に同意しました。

◎選挙管理委員の選挙

任期満了に伴うもので、太刀川令子さん、山本佳子さん、丹羽修身さん、山木昇さんが当選しました。

◎副市長の選任

任期満了に伴うもので、千田史朗さんの再任に同意しました。

◎その他の議案等

条例改正に係る専決処分など3件の議案等を可決・報告済としました。

議会開会中

第2回定例会

主な議案のあらまし

令和元年第2回定例会は、5月27日から6月7日まで
の12日間の日程で開催しました。

本定例会は、市長選挙後の初めての定例会となることから、市長

から令和元年度「市政執行方針及び補正予算大綱」が、教育長から「教育行政執行方針」が説明され

たほか、5人の議員から、市政執行方針等に対する代表質問等を行いました。また、今年度の政策予算となる令和元年度一般会計補正

予算について審議を行いました。議決した主な内容についてお知らせします。

◎令和元年度補正予算

令和元年度一般会計補正予算

(第1号) および令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

については、定例会初日に市政執行方針等と併せて説明が行われ、各会派からの代表質問を経て、最

終日の6月7日に質疑、討論、採決を行い、慎重な審議の結果、全

会一致で可決しました。

一般会計は、歳入・歳出にそれぞれ8億4、631万6千円を追加補正し、総額208億8、331万6千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費は次のとおりです。

○プレミアム付商品券事業の実施

のための経費2億6、568万円

○一般廃棄物最終処分場設備延命

化工事施工監理委託業務および一般廃棄物最終処分場設備延命工

事のための経費2億2、440万円

○二の坂保育所整備交付金の交付
および幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修のための経費1億8、017万3千円などの増額補正です。

また、介護保険特別会計では、保険事業勘定において、低所得者

の介護保険料軽減に係る対象者および軽減割合の拡大に伴う財源振替のための補正並びに介護報酬改定に伴うシステム改修のための経費71万3千円を増額補正し、介護保険特別会計総額41億1、412万8千円となりました。

◎一部事務組合議会議員の選挙

滝川市長が組合長に就任し、次の一部事務組合議会議員に欠員が生じたことから、議員の補充選挙を行い、次の議員が当選しました。
中空知衛生施設組合議会議員
堀 重雄

石狩川流域下水道組合議会議員

渡邊 龍之

空知教育センター組合議会議員

佐々木和代

◎条例の制定・改正・廃止

次の条例の制定、改正、廃止について原案のとおり可決しました。

○消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例を制定しました。

○滝川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例など4件の条例の一部を

改正しました。

○滝川市民会館条例を廃止しました。



▲廃止された市民会館

◎教育委員会委員の任命

任期満了に伴うもので、田代雄一さんの任命に同意しました。

◎人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴うもので、丸山健さんを推薦しました。

◎意見書の送付

日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書など3件の要望意見書を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について、議員の派遣についてなど5件の議案等を可決、報告済としました。

第2回例会 代表質問から



会派清新
柴田 文男

市長の基本姿勢について

質問 2期連続の無投票当選。市民の信任の機会が得られなかった中で、今後の市政運営における留意すべき事柄について伺う。

答弁 これまでも出来る限り市民の声をお聞きし、市政へ反映させてきたが、さらにきめ細やかに相互理解を図るとともに、より謙虚な姿勢で市民の思いに応えていきたいと考えています。

質問 政策の優先順位について、市政執行方針では、病院の経営改善や行財政改革が優先され、子育て支援や教育問題など、置き去りにされている重要課題が多い。病院の経営改善は喫緊の課題だが、政策の優先順位をどう考え、取り組むのか伺う。

答弁 現状、地域医療の拠点である市立病院を守ることが喫緊の課

題であると判断しています。ご指摘のとおり、行財政改革についても優先すべき課題であり、市民サービスの安定的な提供のためにも避けて通れない課題です。しかしながら、子育て支援など目を向けるべき課題も多く、財政の健全化の進捗状況も見ながら、やるべきことをやっていきたいと考えます。

子育て支援の実施について

質問 子育て支援の実施については市長の念願でもあり、実施しなければならぬ時期に来ている。

来年から5か年計画で検討の運びとされるが、すぐにでも小学生までの通院費の無償化を実施すべきであり、財源問題を理由に拒むことなく、市長として決断すべきと考えるが、実施に向けた考えを伺う。

答弁 小学生の通院医療費の助成につきましても、財政的にも非常に大きな負担が生じるため、慎重な判断が必要と思われます。

しかしながら、その必要性は十分認識しており、総合的な判断の中で、この任期中に決断したいと思っています。

防災対策について

質問 避難勧告に関するガイドラインについて、市民周知の際には避難対象者が即座に分かるような表現を用いるべきと考える。

また、避難所開設のタイミングについては、避難準備前の段階で開設できるよう運用の改善を図るべきだが、見直しについての考えを伺う。

答弁 国では平成30年7月豪雨において、発災時のさまざまな防災情報が住民に十分活用されなかったことを踏まえ、防災情報を5段階の警戒レベルに分け、対象者ごとの避難のタイミングが分かるよう改めました。ご指摘の表現の問題につきましては、より具体的な表現を用いるなど、適切に周知を図り、運用を開始いたします。

また、避難所の開設のタイミングについても、石狩川滝川地区水害タイムラインにおいて、避難所開設のタイミングを明確化し、開設に遅れないよう見直していきます。

質問 避難所の停電時の電力供給確保のため、外部電源切替盤の設

置は重要である。江部乙地区の電力供給確保について伺う。

答弁 滝川スポーツセンター第一体育館と東滝川地区転作研修センターについては、今年度設置を予定しており、江部乙の農村環境改善センターについては次年度以降の改修時に設置したいと考えます。

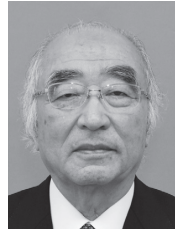
学校教育について

質問 教職員の負担軽減策として、専門スタッフの配置や学校サポート体制の充実などを掲げられているが、肝心なのは教職員の増員であると考える。

少人数学級の拡大とともに重要な課題であるが、考えを伺う。

答弁 教職員の働き方改革の実現に向けた取り組みとしてやはり重要なのはマンパワーであります。

少人数学級の拡大や教職員の加配については、国や北海道の事業を活用しながら充実に努めているものの、教員が本来担うべき業務の時間確保は十分ではありません。質の高い教育を実現できる教職員定数の増員について、引き続き国や北海道に対して要望するなど努力していきたいと考えます。



新公会
田村 勇

市立病院の経営改善について

質問 看護師20人を確保し、休床している病棟を再稼働することで黒字に好転できるのか伺う。

答弁 仮に看護師20人を確保し、病棟を再稼働することができたとしても、それで黒字に好転するとはまでは考えていませんが、病棟の再稼働が収益改善のための有力な方策と考えています。

市立病院の経営改善については、専門知識を有したコンサルtant会社を活用しながら、収支改善のための短期・中期改善策を盛り込む経営計画を策定し、市と市立病院が一体となりスピード感を持って取り組んでいくとともに、適正な医療従事者の確保に努めます。

質問 全国で専門知識を有するコンサルtant会社社の有限責任監査法人トーマツ社による事例を伺う。

答弁 市立病院経営分析支援業務を受託した有限責任監査法人トーマツ社は、小樽市の新公立病院改

革プランの作成支援業務をはじめ、病院の経営計画の策定・実行支援業務、病床再編を伴う将来構想の策定支援業務など、全国の公的病院や大学、民間医療法人などの経営改善業務に従事され、一定の成果を上げていると聞いています。

質問 市立病院サイドだけでの改善計画では限界なのか伺う。

答弁 市立病院では、平成27年度に想定外に経営状況が悪化し、年度末に5億円の資金不足が発生したことから、28年度に経営計画を策定して取り組んできましたが、30年度末までの累積資金不足額は8億4,700万円にまで拡大したことから、市立病院の経営問題を市全体の最重要課題と捉え、これまで以上に市と市立病院が一丸となるとともに、専門知識を有する有限責任監査法人トーマツ社の英知も結集しながら、累積赤字の解消などに全力を挙げて進めていきます。

ふるさと納税について

質問 8億円を超えるふるさと納税は喜ばしいことだが、返礼品の選定に対する考え方と、返礼品取

扱事業者との今後の関係について、どのように考えているのか伺う。

答弁 ふるさと納税の返礼品の選定については、市内で生産された農産品や地場企業で製造・加工されたものを、市内で利用できる利用券などを基本に、返礼割合も3割以下に設定し、総務省の示す6月施行の新しい基準からも逸脱しない範囲で、進めていくことを考えています。

また、返礼品取扱事業者とは、常に良好な関係を保ちながら、今後も寄付者の興味を引くような商品開発をお願いし、ふるさと納税を通じて地元特産品のPRや地元企業の育成につながるよう進めていきたいと考えています。

子どものネット環境について

質問 子どもたちのインターネット、SNS、フェイスブックなどのネットトラブルの把握およびスマートフォン取り扱い、学校の指導などの実態について伺う。

答弁 学校へのスマートフォンの持ち込みについては、各学校の判断に委ねていますが、現状すべての小・中学校において禁止してい

ます。子どもたちのネットトラブルの状況については、定期的にスマートフォンや携帯電話などの利用に関する意識調査を行うとともに、学校を通じた情報収集にも努めています。

北海道青少年健全育成条例では、18歳未満の青少年が利用者としてスマートフォンなどを契約する場合は、有害な情報を閲覧しにくくするサービスであるフィルタリングを義務化しています。また、北海道教育委員会では、委託業者によるネットパトロールを行っており、インターネット上に不適切な書き込みが検出された場合は、委託業者より直接市教育委員会へ情報提供され、その後、市教育委員会より学校へ情報提供をしています。

市教育委員会としては、スマートフォンなどの利用について、家庭内でスマートフォンなどの利用ルールを決めることが重要と考え、保護者に対して、中学校の入学説明会やPTA連合会の研修会の場などでリーフレットを用いて説明を行ったり、ホームページや定期刊行物による啓発活動も実施しています。



会派みどり
山口 清悦

市立病院の経営改善について

【質問】 市立病院の経営難は、多くの市民が不安を持っている重要課題です。今年度、病院の分析を有限責任監査法人トーマツ社に依頼していますが、報告および提案がなされた後の具体的な対応策について伺う。

【答弁】 市立病院の経営改善計画は、現状分析や課題の洗い出し、今後のあるべき姿などすぐに実行できる短期的な改善策と中長期的な改善策に分けて今年度策定します。

令和2年度から5年度までの4年間は策定した計画を実行する期間として、計画実行の支援業務を同社に委託する予定です。

具体的な対応策については、分析中のため、現時点では申し上げることができませんが、計画期間中には必要に応じて当初計画を時点修正しながら、5年度末までに単年度黒字化に向けて取り組んでいきます。

公営住宅整備について

【質問】 開西団地再編整備は、低所得高齢者用の「サービス付き高齢者向け住宅」と子育て世帯用「子育て世帯支援向け賃貸住宅」を柱として官民連携の新たな整備手法と位置付けていますが、その手法について伺う。

【答弁】 公営住宅の整備については、老朽化した浴室の無い平屋建て住宅の建て替えを計画的に進めてきましたが、人口や世帯数の減少に伴い市営住宅の入居率も年々減少傾向にあることから、これからは既存公営住宅の活用と新築住宅の建設をバランスよく行う必要があると考えています。

また、人口減少や空き家の増加については、全国的に早急に取り組むべき課題として、国は平成29年度に住宅セーフティネット法を大改正し、民間事業者が行う改修事業を対象とした国の補助制度を拡充し、民間活力を導入しやすい新たな環境が整備されたところであります。本市においても民間活力を生かして新たな整備手法を導入し、住環境整備を推進したいとするも

ので、具体的な整備方法については、今まで建て替えに伴い解体していた古い公営住宅を民間事業者に売却し、サービス付き高齢者向け住宅や子育て支援住宅へリノベーションしていただき、管理運営までを行っていただくもので、改修費用などの一部を国が行う補助制度を活用することで公営住宅同様に所得の低い高齢者の皆さんや子育て世帯でも入居可能な施設を提供していただくものです。この整備が実現することで、民間活力により公営住宅を補完し、今までに無い多様なサービスの提供や周辺地域を含めたコミュニティの活性化などを期待し、新たな団地整備のモデルとして実現していきたいと考えています。

根室本線協議会について

【質問】 JR北海道の「根室線アクションプラン」について、市長の見解を伺う。また、これまで根室本線対策協議会に出席して、根室本線（滝川～富良野間）の維持・存続に向けた他市の状況と今後の市長の判断基準について伺う。

【答弁】 根室本線事業計画、いわゆる

るアクションプランは、JR北海道が策定主体となり沿線自治体と協議のもと、平成31年4月に策定されたものですが、当該線区の利用促進と経費削減に特化したプランとなっています。このアクションプランの具体的内容をJR北海道と自治体が一体となって実行していくことは重要であると考えており、JR北海道とともに最大限の努力をしていきますが、根本的に路線の単年度赤字をカバーするだけの起死回生策では無いと認識しています。

また、根室本線対策協議会においては、路線の役割として生活・観光・物流の3つの観点で議論を重ねていますが、沿線自治体それぞれにおいて特性や抱える問題などが異なり、路線に対するそれぞれの見解があるものと認識しています。

観光・物流については、国や北海道が広域的観点から路線の在り方について指導すべきものと考えていますが、本市の立場から鉄路を含む公共交通全体で分析しながら、最適な交通体系を見いだしていきたいと考えています。



公明党
三上 裕久

市立病院について

質問 専門知識を有するコンサルタント会社の活用により、市立病院の現場スタッフの理解があつたのかを伺う。

答弁 市立病院との協議を踏まえ、市立病院職員の理解のもと業務が進められています。

質問 コンサルタント会社の活用で具体的な改善目標を伺う。

答弁 平成30年度末までの累積8億4,700万円の資金不足の解消と令和5年度の単年度収支黒字化を目指し、今後の改善策を明確にしていきたいと思います。

質問 地域医療の将来を見据え、滝川市、赤平市、芦別市の市立病院の将来的な経営統合を前提に（仮称）中空知自治体病院連絡協議会の設置を提案するが、見解を伺う。

答弁 現時点では、今年度策定の経営改善計画に基づく市立病院単独での単年度収支の黒字化を目指しますが、将来的には、中空知の

公立病院の役割や機能分担を検討する必要があると考えています。

元気な産業と活力あるまちづくりについて

質問 農商工連携を進めることについて、農業者・商工業者のウインウインの関係を基本に地域内売上増、雇用創出、モチベーション向上などの波及効果を期待したいが、そのような効果を生む官民連携となるのかを伺う。

答弁 地域産業において、農商工の連携は重要な取り組みと考え、市としてサポートを行い地域活性化につなげていきます。

誰もが住みよい安全安心なまちづくりについて

質問 JR根室本線の維持・存続について、短期的な支援策で中長期的鉄道の維持につながると考えているのかを伺う。

答弁 あくまでも短期的な支援であり、国の2年後の法改正を視野に持続的な鉄道網の確立、路線維持、地域支援の在り方など、北海道の議論を注視しつつ判断していきます。

質問 除雪・排雪について、道路交通網の確保対策では、警報予報などの事前予測に基づく降雪前の除雪・排雪の体制について伺う。

答弁 委託業者と情報を共有し対策について協議を行っています。

また、道路の現況を勘案しながら運搬排雪や拡幅作業など、事前の対策により道路交通網の確保に努めています。

未来へはばたく子どもたちを育むまちづくりについて

質問 幼児教育・保育の無償化の導入による需要の増加で教育・保育の質の低下を招くと心配されている方がいるが、見解を伺う。

答弁 本市においては、幼稚園、保育所の入所要件、保育基準は変わりません。認可外保育施設においても指導監督基準を満たしていますので、無償化導入が質の低下につながるものとは考えていません。

市民が活躍するまちづくりについて

質問 地域にあるコミュニティセンターの管理運営を地域町内会から民間企業への委託に変更するこ

とについての見解を伺う。

答弁 災害時の避難所、高齢者、子どもたちの居場所づくりなど、地域特性を生かした管理運営を行っていますので、今後も地域の皆さんによる管理運営を継続していただきたいと考えています。

効率的な行政運営によるまちづくりについて

質問 第2期財政健全化計画で人件費、職員給与についての考えを伺う。

答弁 第1期財政健全化計画において、人員の見直しは、事務事業見直しおよび機構改革とセットで行い、組織のスリム化を図ってきたところであり、これまでの考えのもとメリハリのある見直しで組織、人件費の見直しにつなげていきたいと考えています。

質問 ふるさと納税制度の新たな基準が施行となり、寄付額の伸びが心配される。新たなサイトの増設を急ぐべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 新たなポータルサイトを開設し、広くPRしていくための準備、検討を行っています。



日本共産党
寄谷 猛 男

「(仮称) たきかわ観光国際交流スクエア」の開設について

質問 中心市街地に「(仮称) たきかわ観光国際交流スクエア」を開設するとしているが、情報の収集・発信基地として多くの人に立ち寄ってもらう考えであれば、スマイルビルに開設することが市民の期待に沿うものと思われる。どのような経緯で旧中央バスターミナルでの開設に至ったのかを伺う。

答弁 開設目的の機能を推進するに当たり、ＪＲ滝川駅やバスの利用者が行き交い、交通の結節点として市民の利便性が高く、地域経済の活性化を図ることなどを鑑みて、滝川の玄関口である旧中央バスターミナルを活用することがふさわしいと判断しました。

質問 インバウンド観光の推進に向け、ホームページやSNSなどを活用した魅力発信を行うとしているが、主に対象としている国や地域、発信する内容について伺う。

例えば中国などの有名な観光地はイメージが浮かぶが、北海道、空知、滝川と地域が狭くなるに従いイメージしにくくなると思うが滝川の魅力を引き出す構想を伺う。

答弁 シンガポールからの国際交流員が、東南アジアをターゲットにインバウンド観光の魅力を発信しています。また、地域おこし協力隊員を配置して台湾やタイでの観光プロモーションを実施し、本市の魅力を海外の観光業者などに情報を発信してきました。外国人観光客のうちとりわけタイからの観光客が飛躍的に伸びている状況です。発信内容については、菜の花やジンギスカン、スカイスポートなどを基軸として、本市が誇る岩橋英遠画伯、ランターンフェスティバルなどの観光資源の情報を発信しています。

子育て支援について

質問 「第2期滝川市子ども・子育て支援事業計画」を策定するとしているが、子ども医療費無料化の段階的实施、学校給食費無償化についても検討課題とするのか。また、この事業計画から漏れた

場合でも計画実施期間中に再考される余地はあるのか伺う。

答弁 幅広い意見を反映させるため、保護者の方、事業主の方、学識経験者などから組織された滝川市子ども・子育て会議において総合的な計画を策定します。指摘項目についても行財政改革におけるさまざまな検討課題の中に含めて考えていきます。

質問 子育て支援に関するニーズ調査で、未就学児童を持つ保護者は「経済的な負担、不安を感じる」との回答が前回調査に引き続き40%を超え、さらにその割合は上昇している。その重みを受け止め経済的負担を軽減する施策を優先すべきと考えるが、子育て支援事業計画の策定基準、優先順位について伺う。

答弁 アンケートなどの分析とおり、さまざまな声があるのは承知しています。その声を大事にしながら、今後判断していきます。

学校教育について

質問 市独自のサポート体制として小学校3・4年生を対象に35人学級制度(少人数学級実践事業)

を引き続き推進することとされている。小学校5・6年生、中学校2・3年生まで対象を拡大することについての課題を伺う。

答弁 小学校5・6年生まで拡充する方向で検討していますが、新たな人的配置は大きな財政負担を伴うため、引き続き市全体の政策協議の場で検討していきます。本事業は、児童生徒の生活および学習の両面において、個に応じたきめ細かな指導ができるなどの大きな効果が表れているという調査結果があります。それを踏まえ35人学級の対象学年の拡充を早期に実施するよう国や北海道に要望していきます。

質問 「学校施設の整備については、滝川第二小学校体育館床改修工事を実施するほか、施設的安全点検を定期的に行う」としているが、小・中学校施設の老朽化状況の把握、改築および長寿命化を含めた施設の整備方針を伺う。

答弁 小・中学校における今後の整備方針については、市立高等学校を含めた公共施設全体の個別施設計画策定を進める中で、各施設の具体的な方向性を決めていきます。

令和元年第2回臨時会議決結果

●選挙

◆	滝川市議会議長の選挙について 当選 関藤龍也
◆	滝川市議会副議長の選挙について 当選 本間保昭
◆	中空知広域市町村圏組合議会議員の選挙について 当選 田村 勇
◆	中空知衛生施設組合議会議員の選挙について 当選 山本正信 本間保昭 荒木文一 東元勝己
◆	滝川地区広域消防事務組合議会議員の選挙について 当選 三上裕久 渡邊龍之 荒木文一
◆	中空知広域水道企業団議会議員の選挙について 当選 堀 重雄 木下八重子 寄谷猛男 柴田文男 水口典一
◆	石狩川流域下水道組合議会議員の選挙について 当選 安樂良幸 東元勝己
◆	中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員の選挙について 当選 関藤龍也 山口清悦 安樂良幸
◆	滝川市選挙管理委員及び補充員の選挙について 当選（委員） 太刀川令子 山本佳子 丹羽修身 山木 昇 当選（補充員） 田中良吉 高谷富士雄 野澤洋子 高島史明

●条例

◎	滝川市税条例等の一部を改正する条例
---	-------------------

●その他

★	専決処分について（滝川市税条例の一部を改正する条例）
◇	副市長の選任について
◇	監査委員の選任について
□	常任委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
□	議会運営委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
■	議席の変更について

◆当選

◎全会一致可決

◇全会一致同意

□選任

★報告承認

■可決



令和元年第2回定例会議決結果

●選挙

◆	中空知衛生施設組合議会議員の選挙について 当選 堀 重雄
◆	石狩川流域下水道組合議会議員の選挙について 当選 渡邊龍之
◆	空知教育センター組合議会議員の選挙について 当選 佐々木和代

●令和元年度補正予算

◎	令和元年度滝川市一般会計補正予算（第1号）
◎	令和元年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第1号）

●条例

◎	消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例
◎	滝川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
◎	滝川市民福祉条例の一部を改正する条例
◎	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
◎	滝川市介護保険条例の一部を改正する条例
◎	滝川市民会館条例を廃止する条例

●その他

◇	教育委員会委員の任命について
◎	訴えの提起について
◎	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
◎	議員の派遣について
□	人権擁護委員候補者の推薦について
☆	平成30年度滝川市一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
☆	平成30年度滝川市下水道事業会計予算の繰越しについて
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について

●意見書

◎	2020年地方財政の充実・強化を求める要望意見書
◎	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める要望意見書
◎	日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書

◆当選

□可と答申

◇全会一致同意

◎全会一致可決

☆報告済

常任委員会だより

総務文教常任委員会

委員長 安樂 良幸
副委員長 東元 勝己
委員

堀 重雄 山口 清悦
渡邊 龍之 寄谷 猛男
佐々木和代 本間 保昭
柴田 文男 荒木 文一

安樂委員長から

5月から総務文教常任委員長を拝命し、9人の委員とともに、新たな体制でスタートすることとなりました。

本委員会では、企画、行財政の運営、文化・スポーツ振興、防災対策、公共交通および教育振興など、12項目にわたる広範な事項について調査を行います。

本市においては、厳しい財政状況ではありますが、市民の皆さんの生活を第一に考え、行政とともに知恵を絞り優先順位を模索し、今、何が必要なのかを見極めつつ活動したいと考えています。

私たちは、市民の皆さんが住んで良かったと思えるまちづくりのため、全力で取り組んでいきますのでよろしく願います。

厚生常任委員会

委員長 三上 裕久
副委員長 佐々木和代
委員

堀 重雄 木下八重子
山口 清悦 山本 正信
安樂 良幸 田村 勇
水口 典一 東元 勝己

三上委員長から

厚生常任委員会は10人の委員から構成されています。

市民生活に最も直結する常任委員会として高齢者や障がい者福祉、子育て事業などについて全委員が積極的な議論、提案を行うことで住民福祉の向上に努めます。

また、今期より常任委員会として積極的に関係機関、関係団体との意見交換を実施し、市民から見える常任委員会を目指すとともに、そこでの貴重なご意見を市政に生かしていきます。

当面の課題に市立病院の経営赤字からの脱却があります。

地域医療を守る意味において、行政と議会が丸となり解決していくことが重要であることを共通認識として活動していきます。

経済建設常任委員会

委員長 荒木 文一
副委員長 山本 正信
委員

三上 裕久 木下八重子
渡邊 龍之 寄谷 猛男
本間 保昭 田村 勇
柴田 文男 水口 典一

荒木委員長から

改選後の新たな任期におきまして、経済建設常任委員長を務めることとなりました。私を含め10人の委員体制となり、建設、土木、農政、観光、労働などの所管する事項について調査を行います。

本市のみならず地方都市では財政状況が大変厳しい局面での公共事業、住民サービス向上を目的とした事業の継続が求められますが、多くの課題解決に向かって協議や検証をしっかりと重ねながら、市民の皆さんの負託を受けた市議会議員の責任を果たしていきます。

また、多くの多様な声をいただく場として、委員会が主導するさまざまな団体、機関の方々との意見交換会を開催していきます。ご指導をよろしく願います。

平成30年度政務活動費収支報告

政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として市議会会派または会派無所属議員に交付されるもので、議員1人当たり年額12万6,000円を交付していましたが、滝川市議会では、今年度から政務活動費を廃止しました。なお、平成30年度分の政務活動費の残額は、滝川市に返還されます。

また、領収書、研修や視察調査等の報告書など、政務活動費の支出に係る関係書類については、市議会公式ホームページをご覧ください。

平成30年度 政務活動費収支結果 (単位:円)

収支状況 会派名	収入	支出	残額
会派清新(5人)	630,000	619,298	10,702
会派みどり(5人)	630,000	604,891	25,109
新政会(4人)	504,000	421,788	82,212
公明党(2人)	252,000	40,461	211,539
日本共産党(2人)	252,000	250,926	1,074

議長コラム

初定例会を終えて



令和元年初の定例会が終了しました。議長としてスムーズな議会運営が出来たかは、市民の皆さんにネット中継をご覧になって判断いただければと思います。

この定例会は、4月の議員改選後の議会であり、市政執行方針・補正予算大綱・教育行政執行方針に対する各会派の代表質問が行われました。

新たな元号に入り、この時代に生かされている私たちは、このまちをどのようにしていくか、全議員で真剣に議論していかねばなりません。

私は議長として与えられた4年間で市民の皆さんに対して「議会活動の見える化」を進めていきたいと考えていますので、これから市民の皆さんが議会に対して関心をもつていただき、ご意見をくださいますようお願いいたします。

滝川市議会議長

関藤 龍也

議会目誌 (平成31年4月1日～令和元年6月30日)

4. 8	第48回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	5. 27	第2回市議会定例会を開催した。
4. 11	第49回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	5. 27	第1回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
4. 22	市議会議員当選証書付与式が行われ、終了後議員協議会を開催した。	5. 29	岐阜県飛騨市議会議員1人が市立図書館連携事業の調査のため、来市した。
5. 7	第2回市議会臨時会を開催した。	5. 30	第3回議会運営委員会を開催した。
～10		6. 6	第4回議会運営委員会を開催した。
5. 10	第1回総務文教常任委員会を開催した。	6. 26	訓子府町議会一行12人が議会インターネット中継ほかの調査のため、来市した。
5. 10	第1回厚生常任委員会を開催した。	6. 26	宮城県宮城黒川地方町村議会議長会（松島町、利府町、七ヶ浜町、大和町、大郷町、大衡村）一行7人が議会インターネット中継ほかの調査のため、来市した。
5. 10	第1回経済建設常任委員会を開催した。	6. 27	第2回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
5. 10	第1回議会運営委員会を開催した。		
5. 15	新任議員研修会を開催した。		
5. 16	第2回総務文教常任委員会を開催した。		
5. 16	第2回経済建設常任委員会を開催した。		
5. 17	第2回厚生常任委員会を開催した。		
5. 21	第2回議会運営委員会を開催した。		

編集後記

令和初の定例会においては、各会派代表者が前田市長のまちづくりにおける市政執行方針に対して質問を行いました。

また、議会だよりの紙面づくりにおいては、議会活動が見えるよう、今後も市民の皆さんに分かりやすい、丁寧な編集に努力したいと思っています。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 渡邊 龍之
副委員長 寄谷 猛男
委員 三上 裕久
佐々木 和一代
水口 典一

発行責任者

滝川市議会議長
関藤 龍也

傍聴してみませんか

令和元年第3回滝川市議会定例会開催予定日をお知らせします。

日程

9月4日(水) 本会議
9月5日(木) 本会議
9月17日(火) 本会議 一般質問
9月18日(水) 本会議 一般質問
9月19日(木) 本会議 一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048